

令和5年度 特例の教育課程の実施状況報告

1. 学校・市町村概要

名護市立 真喜屋小学校

・教育目標: よく考える子 思いやりのある子 元気な子

・所在地: ● 沖縄県名護市真喜屋571番地

・児童数

学年	小学校								中学校					小中計
	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	7	8	9	特別支援学級	計	
児童生徒	11	8	19	12	10	12	5	77						
学級数	1	1	1	1	1	1	3	9						

○名護市概要【人口】63,309人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

- 歌や遊びなどの活動を通して、英語特有の発音やリズムに慣れる。
- 間違いをおそれず、英語発音をまねし、進んで発話する。

3・取組の工夫:教科等の系統性・連続性を踏まえた学習指導【系統図や指導計画の作成

- 授業の流れを統一し、英語の表現を繰り返すことで慣れ親しませるようにする。
- 座学だけではなく、ゲームや英語の歌に合わせて踊ったり、パートナーを変えて交流したりすることで、バランスの良い授業づくりを心掛ける。
- 外国の行事や文化に触れる学習をすることで、異文化への理解を深められるようにする。



4. これまでの成果と課題、今後の取り組み

- 成果としては、児童が授業以外でも英語に興味をもつようになったことである。例えば、校内でALTを見かけたら、進んで英語であいさつをしたり、外で耳にした英語を知らせてくれたりした。
- 課題は、ゲームの時、勝ち負けにこだわってしまい、それがきっかけで英語を楽しくないと思ってしまうことである。ゲームなどのアクティビティも、児童の実態に合ったものを選んでやる必要がある。
- 今後の取り組み方として、担任とALTの役割分担量のバランスを検討していく必要がある。